

平成15年度 施策評価表

○総合計画における位置付け等

平成15年 6月 9日記入

基本目標	Ⅱ ▼ ゆとりある みどり豊かな環境共生都市をめざして	施策コード	21130
政策名 (章)	第1章 人と自然にやさしい地域社会をつくります	評価担当課	環境保全部 ▼
基本施策名 (節名)	第1節 地球環境の保全に向けた取り組み		環境保全課
施策名	公害防止対策の推進	課長名	天野 元敬

1 施策の概要・目的

公害や有害な化学物質のない良好な生活環境を確保するため、工場・事業場等の発生源を監視し適時指導することで公害を防止するとともに、一般環境を的確に把握し、汚染を防ぐ適切な対応をとる。

2 施策の現状

工場・事業場から排出される規制物質については、ほぼ基準を満たしており、市内の大气・水質等の一般的な環境の状況は概ね良好である。一方、交通量の多い地点に設置された自動車排出ガス常時監視測定局などについては、徐々に改善しているものの約半数が環境基準を満たしていない。
また、野焼きや工場・事業場からの騒音などに関する苦情の件数は、年間400件程度寄せられている。

3 総事業費及び人員

(1) 施策に要している総事業費

170,788 千円……構成事務事業全体の事業費合計(人件費含む)

(2) 市民1人当りの事業費

277 円/人……人口は、61.6 万人とした。(平成15年4月1日現在人口)

(3) 全施策中の順位(事業費)

この施策の市民一人当たり事業費は、全123施策のうち、第 74 番目です。

(4) 施策に要している人員

9.95 人……構成事務事業全体の人員合計

4 評価指標

指標	指標名および指標式	指標の意図	現状値と目標値			目標
			現状	目標	達成度	目標年度
指標1	< 大气・水質規制基準適合率 > 規制基準適合項目数 ÷ 延べ測定項目数 × 100	工場・事業場から排出される物質が規制基準に適合しているか。	99.4 % 単位	0 50 100	15	目標年度
			100 % 単位		99%	達成度
指標2	< 調査測定環境基準適合率 > 環境基準適合項目数 ÷ 延べ測定項目数 × 100	市内の環境の状況が環境基準に適合しているか。	96.8 % 単位	0 50 100	18	目標年度
			97.7 % 単位		99%	達成度
指標3	< 常時監視環境基準適合率 > 環境基準適合測定局数 ÷ 全測定局数 × 100	市内環境を常時監視している測定局の状況。	61.3 % 単位	0 50 100	18	目標年度
			67.7 % 単位		90.50%	達成度

5 必要性…市民ニーズに合っているか、行政需要の変化に対応しているか

健康で快適な生活環境の確保は、市民共通の願いであり、行政の責務である。
また、苦情など直接市民からの声を聞くことにより、行政需要の変化に対応している。

6 有効性…期待される効果があがっているか

工場・事業場に対する規制基準の適合率及び一般環境に関する環境基準の適合率は、ともに高い水準にあるので、市内の生活環境については、概ね良好な状態に保たれている。
また、立入調査等で指導を行った工場・事業場においても、ほぼ改善が図られ良化しているため、公害防止の効果は高いと思われる。

7 効率性…費用対効果が優れているか、もっと大きな効果が得られるものはないか

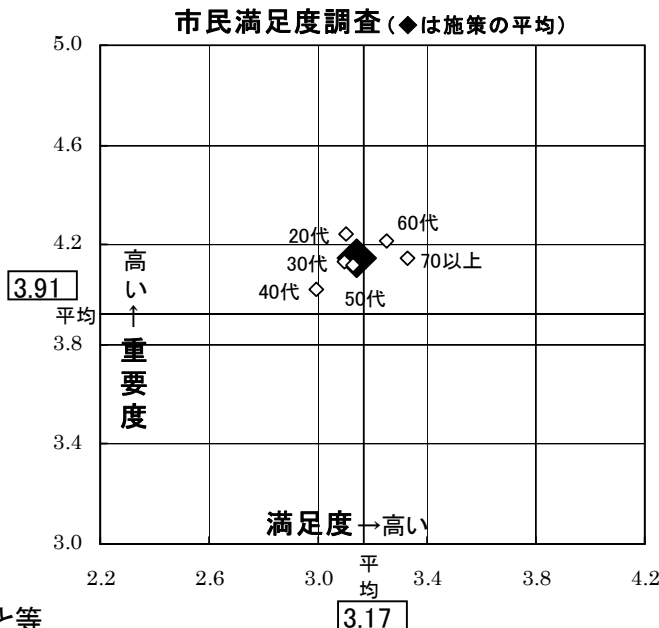
経費の主なものは、調査に対する委託料及び測定局に関する維持管理費であり、各指標の数値とも高い水準であることから、効率性は高いと思われる。

8 市民満足度調査結果からの分析(平成15年度調査)

- ◆この施策の満足度は、3.144で、調査した51施策の中で27番目です。
- ◆この施策の重要度は、4.145で、調査した51施策の中で13番目です。
- ◆この施策の改善要望度は、0.708で、調査した51施策の中で13番目です。

◇年齢別にみると、満足度は60歳代以上で高く、40歳代で最も低くなっています。重要度は20歳代で最も高く、40歳代で最も低くなっています。年齢差はあまり大きくありません。

市民満足度調査は、基本施策51項目(節)について調査しています。したがって、上位の基本施策が同じ場合は同じ内容となっています。(「〇総合計画における位置付け等」参照)

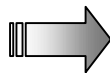


9 課題…施策を実現するにあたり、課題となっていること等

人口や交通量の増加による生活系環境汚染物質及び自動車排出ガスの増加、都市計画における市街化調整区域や工業地域への住宅の進出など、産業経済活動の発展に伴う市民の生活自体が環境への負荷となる場合がある。
また、近年のライフスタイルの多様化により、市民個人単位での生活環境に対する需用が複雑化してきているため、一律的な規制・指導だけでは良好な生活環境の維持に対応し得ない事例が見受けられる。

10 今後の方向性(一次評価)

今後の方向
<input checked="" type="checkbox"/> 拡充する
<input type="checkbox"/> 現状維持する
<input type="checkbox"/> 見直し



説明及び具体的内容

現在行っている事務による施策の目標達成度は、概して高い水準であると思われる。
しかしながら、生活環境は、前述のとおり時代や状況により多様に変化していくため、今後は、届出等の管理や指導の徹底による工場・事業場からの公害防止、測定地点や方法の精査による一般環境の的確な把握、及び、関係する各課との連携による苦情等の積極的解決に向け、より一層拡充して進める。

11 2次評価

説明
<input type="checkbox"/> A
<input checked="" type="checkbox"/> B
<input type="checkbox"/> C

12 外部意見

説明

社会状況等の変化に対応し、市民や企業の理解を得ながら適時・適切な事業展開を図る必要がある。

施策名 公害防止対策の推進

施策コード 21130

構成事務事業一覧

事務事業名	担当課	評価年度	決算額(千円)	人員(人)	評価の概要								施策中の優先順位	
					総合評価	達成度	必要性	効率性	代替性	満足度	有効性	公平性		今後の進め方
環境指導啓発費	環境保全課	15	35,526	3.97	AA	A	A	A	/	/	A	A	継続	1
環境基準監視費	環境保全課	15	27,282	1.19	AA	B	A	A	/	/	A	B	継続	3
環境等調査測定費	環境保全課	15	45,117	3.62	AA	B	A	B	/	/	A	A	継続	2
監視分析機器整備費(国庫補助分)	環境保全課	15	20,926	0.04	AA	A	A	B	/	/	A	A	継続	7
常時監視測定局管理運営費	環境保全課	15	35,084	0.87	AA	B	A	A	/	/	A	A	継続	5
環境検査センター管理運営費	環境保全課	15	3,184	0.12	AA	B	A	A	/	/	A	A	継続	6
測定機器等整備費(市単独分)	環境保全課	15	836	0.02	AA	A	A	B	/	/	A	A	継続	8
環境監視情報システム整備費	環境保全課	15	2,833	0.12	B	B	A	B	/	/	A	A	継続	4

合計 8 事務事業

170,788 9.95 千円 人 平成14年度評価: 達成度、必要性、効率性、有効性、代替性、満足度
 平成15年度評価: 達成度、必要性、効率性、有効性、公平性